

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	2単位	実験・実習	平成30年度	後期	4年次
科目名	総合実習					
担当教員	◎岩本淳子 林みよ子 江南宣子 岡本響子 船瀬孝子 三毛美恵子 石橋かず代					
目的	既修の知識・技術・態度を統合して実践し、看護実践能力をさらに向上させるとともに、マネジメントと倫理観を持った行動を実施するための基礎的能力を養う。					
目標	1) 対象の看護問題を解決するための個別的な看護計画を立案することができる 2) 対象の目標の到達度から自らの看護を評価し、考察することができる 3) 対象が直面する倫理的な問題を考察することができる 4) 複数の患者に対して、優先順位を考えてケアを実践することができる 5) 看護チームの構成員それぞれの役割とメンバーシップを考察することができる 6) 医療チームにおける看護の役割と責任を考察することができる					
他科目との関連	既習の臨地実習、看護実践能力の探求 医療安全学Ⅰ・Ⅱ、総合臨床演習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポート				0.2
	記録等	受け持ち患者のアセスメントおよび看護計画、実習での学びについての記録内容				0.4
	その他	実践内容、実習や課題への取り組み				0.4
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	なし					
参考資料	実習分野で提示する					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	これまでの臨地実習を振り返り、自己課題を明確にして臨む。 本科目前後で履修する「看護実践能力の探求」の学びを活用して実習に臨み、その学びを「看護実践能力の探求」にも活用する。					